

委員会レポート

- ・視察・試食の受け入れ
- ・食育講座の実施

健康寿命延伸都市

8月8日(金)

長野県松本市

外科医である菅谷昭市長のもと「健康寿命延伸都市・松本」の創造を目指し、数々の施策を展開している。

「健康」を「より良い状態を保つこと」と捉え、人の健康を基礎に生活・地域・環境・経済・教育・文化の6つの健康実現に向けて、様々な分野が連携して総合的に進めている。松本市の特徴的な事業

- ・働き盛りの生活習慣病予防事業
- ・身体活動維持向上事業(体力検診事業)

- ・食育推進事業
- ・企業との連携

健康寿命も着実に延び、医療費の伸びは鈍化。

経済建設委員会

景観条例の施行

7月30日(水)

滋賀県栗東市

風格都市栗東の実現を目指して。

風格づくり会談とは
○すべての建築行為等が対象となる。

○事前に話し合う。
○申し出書を提出する。
○景観法の届出。

森林・田園・河川・歴史街道・市街地・工場地・にぎわい・幹線道路・これら8つのエリアの景観特性に応じて景観づくりを進められる。

提出された申し出書は市の方針に配慮しながら、市の職員、設計者と相談し、景観への方向性を確認する。

文教厚生委員会

食育推進計画

8月7日(木)

長野県安曇野市

理念は、「食」ではぐくむ健康で豊かな人づくりとし、子供の頃から基本的な食習慣を身に着け、誰もが心や体が健康な生活ができるように3つの基本目標を定めた。

- 1 生活習慣病予防のための食生活の推進
- 2 家族や仲間と楽しく食卓を囲む機会の増進
- 3 朝食を食べる事の推進

学校給食センターではアレルギー対応食を含めた約9千食を提供。

- ・地産地消の推進
- ・学校訪問および授業への参画

・給食だよりの発行

総務委員会

公金徴収一元化

5月8日(木)

千葉県船橋市

本町では、地方税滞納整理機構の組織を通じて公金徴収を行っているが、公金徴収一元化に取り組み、未収金の徴収に成果を上げている船橋市の手法を学んだ。

所管課では、日常業務に追われ滞納者への取立てや、財産調査、差押えなどの滞納処分が回らないことや、専門知識やノウハウの蓄積が難しい状態であった。

- ・債権管理課を設置し
- ・各課で所管する債権、債務の把握

・強制徴収債権の一元徴収

- ・非強制徴収債権と私債権の支払督促

などの業務を行うことで徐々に成果を上げた。

住民投票の実施

5月9日(金)

埼玉県北本市

本町では、3月議会に上程された東浦町住民投票条例が継続審査となったことから、昨年(25年)12月に住民投票を実施した北本市の状況を視察した。

北本市では、自治基本条例に基づき、市長発議による住民投票条例案が提出され、議会で可決されたことで住民投票が実施された。

提出から投票まで、わずか3カ月で実施されたことには驚かされた。

大規模建築物等とは

○地盤面からの高さが10m以上のもの。

○延べ面積が1000㎡以上のもの。

栗東市は1000年先の将来像の実現に向けて景観都市を目指す。

市街地再開発とまちづくり

7月31日(木)

滋賀県彦根市

中心市街地開発の遅れから郊外型の大型量販店が展開するようになること次第に空洞化が進み、衰退の方向へと変化。

3mの道路に老朽家屋が密集し、防災面等で市街地再開発が決定された。

生活者に視点を置き連携と融合し、新しい彦根のまちづくりとして発展することが期待される。